

第 1 回豊田市廃棄物処理施設審査会の疑義について

番号	疑義	回 答
1	維持管理に関する計画の排ガスの性状のうちダイオキシン類を4ng-TEQ/m ³ N以下とした根拠は。	<p>事業者が平成 21 年 11 月に各交流館で実施した事業計画説明会（住民説明会）において、排ガスの管理値は法の規制値である 5ng-TEQ/m³N と提案しましたが、関係住民からの要望があり、見解書にてダイオキシン類の管理値を 4ng-TEQ/m³N とし、住民の理解を得ています。</p> <p>また、同型の導入済み施設の測定結果から 4ng-TEQ/m³N 以下の運転は可能と考えられます。</p>
2	設置予定箇所に隣接した既設建築物の基礎構造を示した図面及び付近のボーリング柱状図はどのようなものか。	<p>既設建築物の基礎構造は、杭支持構造となっておりますが、基礎構造を示した図面は見当たりませんでした。工法は別添資料①に記載された基礎杭グラウト施工計画書に基づき施工されています。</p> <p>ボーリング柱状図については、当時施工分は見当たらないため、今回の計画施工時のボーリング柱状図を添付（別添資料②）します。</p> <p>【過去に施工した方法】</p> <p>基礎杭が遮水層を貫通した後に、杭付近に別の注入用の孔を遮水層付近まで掘削し、そこからセメントベントナイトを注入し、シールすることによって、生活環境の影響を抑える方法。</p>
3	当該施設を建築する際の基礎の位置を示した図面及び基礎の標準断面図等の施工図面はどのようなものか。	<p>当該施設建築物基礎構造については、先程の施工ボーリング調査より、杭支持構造にて対応しますが、位置の決定はされておられません。</p> <p>支持層まで杭を打設するため、遮水計画については、十分検討し、無水にて施工でき、且つ実績もある中掘拡大根固め工法（STJ 工法）を採用します。</p> <p>STJ 工法の標準断面図等は別添資料③のとおりです。参考にカタログを添付します。</p>
4	同型の導入済みの施設における燃え殻等のつまりによる故障等の情報はるか。	<p>事業者が実施したメーカーからのヒアリングによると、燃え殻等のつまり対策としては、焼却炉の下部側壁を水冷構造にして熔融しない温度に調整しているとのこと。</p> <p>市は、同型の導入済み施設において燃え殻等のつまりによる故障がないことを確認しました。</p>